



## 「当たり前前の幸せ」に感謝

7月の大雨によって、多くの方々が亡くなられたことを、テレビや新聞などで見て知っている人は多いと思います。和歌山市内でも家が浸水するなど大きな被害にあわれた方がたくさんいらっしゃいます。

全国では200人以上の方が亡くなり、現在も約5,000人の方が避難所での生活を送っているということです。

家族や知り合いの方をなくし、これからのことを不安に思っている方々。家には戻れず、今も避難所での生活を送っている方々。皆さんと同じ年齢の子供たちの中には、この夏休みを避難所で送らなければならない子供たちもいます。

地震や大雨の災害はいつ起こるか分かりません。亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、今、自分たちが生きていること、家族や友だちがいる、いつもと変わらない日々が続いていることなど、意識しないと気づかない「当たり前前の幸せ」があることに感謝したいと思います。

(1学期終業式 校長講話)



中庭には1年生が育てた朝顔が咲いています。

## 平和への祈りを込めて

7月9日は、和歌山大空襲の日です。今年も汀公園で営まれた市戦災死者追悼法要に、7年生代表生徒4人が参加し、平和への祈りを込めて折った千羽鶴を奉納させていただきました。

今年度の7年生は、今回の和歌山大空襲について、6月20日(木)に地域の戦争体験者をお迎えし、直接お話を伺う機会を持つことができました。当日は、和歌山大空襲について代表生徒が朗読を行った後、地域に住まわれている、上原ハツさん、山口節子さん、坂田俊博さんの3人の方々から、大空襲当日のお話を伺いました。想像を超える空襲の激しさ、避難した場所によって変わった生と死、厳しい食糧事情、そして何より「命の大切さ」を教えてくださいました。上原さんが22年前に作られた詩「私は忘れない」については、当日の授業の様子とともに、本校の玄関に飾らせていただきました。



7年生代表生徒の千羽鶴奉納



平和に対する思い、命の大切さを語っていただきました

直接戦争体験を語ってくださる方は少なくなっていますが、今回3人の方々、子供たちに直接お話しいただいたことに心より感謝します。これからも地域のみなさんのお力を借りながら、生きる力となる学びを深めていきたいと考えています。



大空襲の日にあわせて掲示しました。

登校日 8月 1日 (水)  
2学期始業式 8月 27日 (月)